

◆室井三紀

「よだかの星」宮沢賢治 作  
よだかは実にみにくい鳥です。  
他の鳥たちには嫌われ、  
鷹には名前を変えなければ殺すと言われます。  
悩むよだか。  
その晩、よだかは自分が小さな虫を殺して  
食へていることに気づきます、  
そして……。

◆横田桂子

「注文の多い料理店」宮沢賢治 作  
二人の青年紳士が獵に出て路を迷い「注文の多い料理店」に入り  
その途方もない経営者から却って注文されていたはなし。  
糧に乏しい村の子供らが都会文明と放恣な階級とに対する止むに止まれない反感です。  
〔注文の多い料理店〕刊行に際しての広告ちらしより〕

琵琶と語りと◎その六

# 糸遊び

田原順子と弟子達による創作琵琶弾き語りの会  
……好きな話を琵琶で語りたい

◆松田光輝

「清 ぶらり ぶらり」  
山下清「日本ぶらりぶらり」より  
放浪の画家・山下清  
彼が日本全国を旅しながら、見たもの、聞いたものから  
何を感じ、何を思ったのか？  
飾らない言葉で書かれた日記や言葉から生身の  
山下清がみえてくるかもしれません。

◆田原順子

「やまなし」宮沢賢治 作  
谷川の水底の世界です。  
しんと静かな……それでも色や音のある、  
事件もある、時間の流れの中の1コマです。

\*出演順未定

◆遠山顕

「ねずみ念仏」《改訂初演》  
日本昔話より遠山顕 脚色  
山中にぼつりと、だが元気に棲んでおるばさまの唯一の悩みは、  
死んだじさまに上げるお経を知らぬこと。  
ある夕暮れ時、路に迷ったとボロの袈裟を着た男が訪れて……。  
笑涙琵琶語り部が、ギャグとペースをさらに加えて再脚色いたしました。  
和英でどうぞ

◆西村剛士

「火のおんな」  
井原西鶴「八百屋お七物語」より  
西村剛士 脚色  
「八百屋お七物語」を元に、  
思いを寄せたあの人に再び会いたいのが為に  
江戸の町に火を放ち、火あぶりにされた  
若い女性のお話です。



●日時 2011年10月16日 (日)  
昼の部：開場 午後1時00分 開演 午後1時30分  
夜の部：開場 午後5時30分 開演 午後6時00分  
●料金 入場券：2500円 (全席自由)  
●会場 イワト劇場  
東京都新宿区岩戸町7番地  
TEL. 03-5225-3635  
JR「飯田橋」駅 西口より徒歩7分  
都営地下鉄 大江戸線「牛込神楽坂」駅 A3出口より徒歩1分  
営団地下鉄 南北線・有楽町線・東西線「飯田橋」駅 B3出口より徒歩7分  
営団地下鉄 東西線「神楽坂」駅 神楽坂口より徒歩5分  
●チケット申し込み、問い合わせ、その他連絡先：田原順子  
Tel & Fax. 042-365-7420  
Mail : biwa-jun@s9.dion.ne.jp